

新潟県経営品質協議会

経営品質向上活動 のご案内

「気づきを得る」「実践の支援を受ける」「広める、高める」
3つの機能を満たす活動を用意しています。

顧客本位

独自能力



社員重視

社会との調和

新潟県経営品質協議会

TEL : 025-290-7127 / FAX : 025-290-7821

<https://www.nqac.com>

I. 新潟県経営品質協議会

1987年に米国「マルコムボルドリッジ国家品質賞（MB賞）」が創設されて以来、同じ考え方のもとで、全世界にこのプログラムが普及され、100以上の国や地域で展開されています。国内では、地域の経営品質協議会や地域の経営品質賞をはじめ、経営品質の向上の普及・推進が行なわれています。

新潟県においては、1998年10月に新潟県経営品質協議会を創設し、新潟県下企業・組織が競争力のある経営体質・組織風土の変革を「経営品質向上プログラム」というツールを活用し卓越した経営を目指す経営革新に向けた取り組みを行っています。併せて、新潟県経営品質賞制度（NQA）が創設されています。

「広く県内中小企業の皆様が『経営品質の向上』に出会い、真の競争力のある経営体質を構築するための契機となること、そして『新潟県経営品質賞』の審査を通じて、応募企業の真の経営課題を明確にするための支援をすること」を使命としています。

新潟県経営品質賞は評点総括 A－レベル以上が知事賞、B＋レベルがとき賞、B－レベルが奨励賞受賞対象となっています。

直近の受賞企業は下記の通りです。

<2017 年度>

新潟県経営品質賞 知事賞：日鉄住金工材 株式会社（現：日鉄工材 株式会社）

代表取締役社長：石川 昌弘

所在地：上越市川原町10-29

業 種：ステンレス等各種金属製品の製造・販売

受賞理由：・「社員の幸せ」に着目した組織活性化

- ・主要顧客の要望を具現化する製品開発
- ・目的を明確にした組織能力、個人能力向上の取り組み 等

<2018年度・2017 年度>

新潟県経営品質賞 とき賞：迎賓館 TOKIWA

代表役員 館長：齋藤 伸雄

所在地：新潟市中央区西船見町 5932-300

設立：昭和46年3月

業種：挙式・披露宴 各種宴会・会合

受賞理由：2018 年度

- ・合議制の下での「全員参加の経営」活動の推進
- ・「全員参加の神社婚」と「忘れえぬ感動の披露宴」の更なる品質向上の取り組み
- ・神社の会館であることを活かした新商品・サービスの創出と顧客開拓
- ・迎賓館 TOKIWA の特徴を活かした社会貢献活動

2017 年度

- ・全員参加の祭り経営の仕組みづくり
- ・法人事業、コンサル事業等新たな事業戦略の策定
- ・日本の伝統を守る貢献活動 等

<2017 年度>

新潟県経営品質賞 とき賞：学校法人 新潟青陵学園 新潟青陵高等学校

校長：羽田 春喜

所在地：新潟市中央区水道町 1-5932

設立（創設）：明治33年4月

業種：教育

受賞理由：・校長のリーダーシップと経営幹部が主導する組織改善活動

- ・「面倒見のよい教育」の実現を目指した教育メニュー開発と生徒支援システム 等
- ・私立高校として、独自ブランドを確立し、社会的評価を高める取り組み 等

これまでの受賞企業

1999 年度	『奨励賞』	○大企業部門 亀田製菓株式会社 ○中小企業部門 株式会社岩の原葡萄園 株式会社ウイング マルタ醤油株式会社	新潟市江南区 上越市 新潟市中央区 新潟市秋葉区
2000 年度	『知事賞』 『奨励賞』	○大企業部門 新潟リコー株式会社(現:リコージャパン(株)新潟支社) ○中小企業部門 株式会社タカヨシ ○中小企業部門 株式会社ウイング 有限会社大橋屋(現:(有)ほてる大橋 館の湯)	新潟市東区 新潟市江南区 新潟市中央区 新潟市西蒲区
2001 年度	『知事賞』 『奨励賞』 『チャレンジ賞』	○中小企業部門 有限会社大橋屋(現:(有)ほてる大橋 館の湯) ○中小企業部門 株式会社棒三条スイングスクール(現:(株)アクティス) 新潟ゼロックス株式会社(現:富士ゼロックス新潟(株)) ○中小企業部門 新潟リッセ協同組合	新潟市西蒲区 三条市 新潟市中央区 新潟市西区
2002 年度	『知事賞』 『奨励賞』 『チャレンジ賞』	○中小企業部門 株式会社ウイング ○中小企業部門 和同情報システム株式会社 株式会社エム・アイ・ディ・ジャパン ○中小企業部門 迎賓館 TOKIWA	新潟市中央区 長岡市 上越市 新潟市中央区
2003 年度	『奨励賞』	○中小企業部門 迎賓館 TOKIWA 株式会社アクティス	新潟市中央区 三条市
2004 年度	『知事賞』 『奨励賞』	○中小企業部門 新潟ゼロックス株式会社(現:富士ゼロックス新潟(株)) ○中小企業部門 株式会社富士通新潟システムズ	新潟市中央区 新潟市中央区
2006 年度	『奨励賞』	○中小企業部門 株式会社ハンズワタベ	長岡市
2008 年度	『奨励賞』	○中小企業部門 株式会社創風システム	柏崎市
2013 年度	『奨励賞』	○中小規模部門 株式会社フーゲツ	三条市
2015 年度	『とき賞』	○中小規模部門 日鉄住金工材株式会社 株式会社フーゲツ	上越市 三条市
2016 年度	『奨励賞』	○中小企業部門 迎賓館 TOKIWA ○非営利組織部門 学校法人青陵学園 新潟青陵高等学校	新潟市中央区 新潟市中央区
2017 年度	『知事賞』 『とき賞』	○中小企業部門 日鉄住金工材株式会社 ○中小企業部門 迎賓館 TOKIWA ○非営利組織部門 学校法人新潟青陵学園新潟青陵高等学校	上越市 新潟市中央区 新潟市中央区
2018 年度	『とき賞』	○中小企業部門 迎賓館 TOKIWA	新潟市中央区

敬称略

■ 2005 年度より奨励賞の基準を変更。 Bレベルの「奨励賞」を、B+レベルの「とき賞」とB-レベルの「奨励賞」とした。

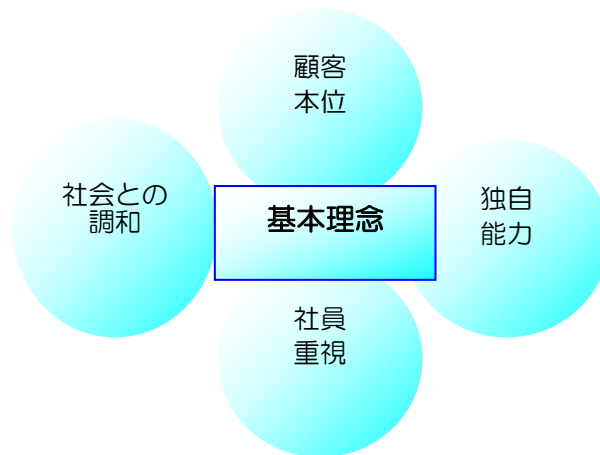
Ⅱ. 経営品質の向上

経営品質の向上とは、組織が継続的な経営革新(イノベーション)に取り組み、「卓越した経営を目指すことです。卓越とは、「抜きん出る」ということで、他を圧倒するとか、際立っているというニュアンスに近いものです。特に重視するのが独自性です。平均的、平凡な考え方や方法ではなく、独特で他に類を見ないような考え方ややり方を創りだすことを目指します。

1. 基本理念

「卓越した経営」を行うために、前提とする価値観をまとめたものが基本理念です。経営の卓越差を高めるためには、この基本理念に沿った考え方で経営革新を進めてください。

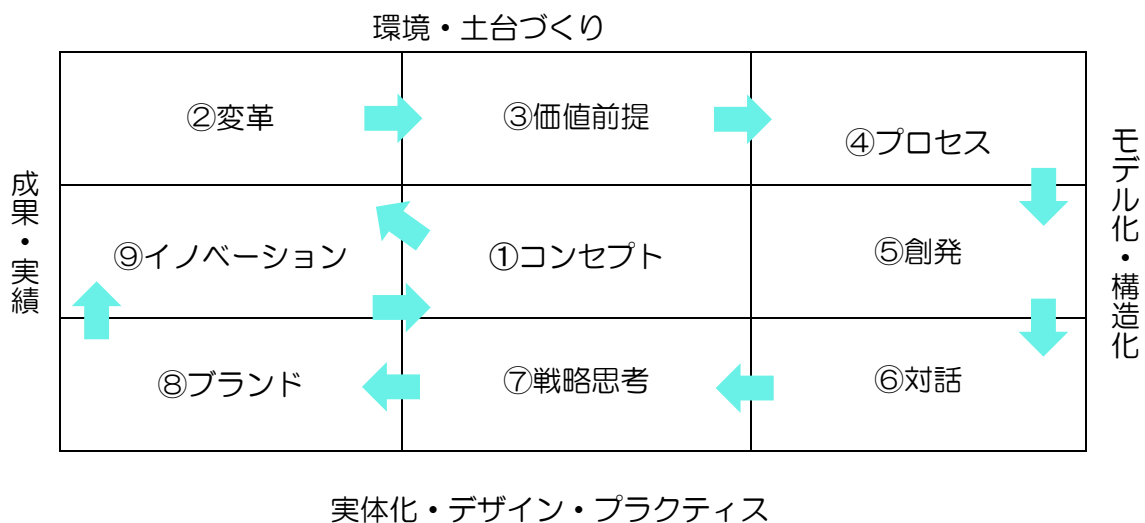
- ① 顧客本位：組織の目的は、顧客価値の創造です。
- ② 独自能力：同質的な競争を避け、競争優位性を確保するには、独自能力の追求が重要です。
- ③ 社員重視：社員一人ひとりを大切にし、社員のやる気と能力を引き出すことが重要です。
- ④ 社会との調和：社会に貢献し、調和することが重要です。



2. 重視する考え方

アセスメントの目的は経営革新(イノベーション)にあります。イノベーションの対象は、事業自体、製品・サービス自体、製造プロセス、そしてそれらを可能にする組織能力です。イノベーションに取り組むために、プロセス・デザインの内容が整理されイノベーション・サイクルとして示されています。これを繰り返していくことで、イノベーション・プロセスは進化し、イノベーション軌道に乗ることができます。

- (1) コンセプトを考える ①コンセプト ②変革 ③価値前提
- (2) 創発の場をつくる ④プロセス ⑤創発 ⑥対話
- (3) 戦略を構築する ⑦戦略思考 ⑧ブランド ⑨イノベーション



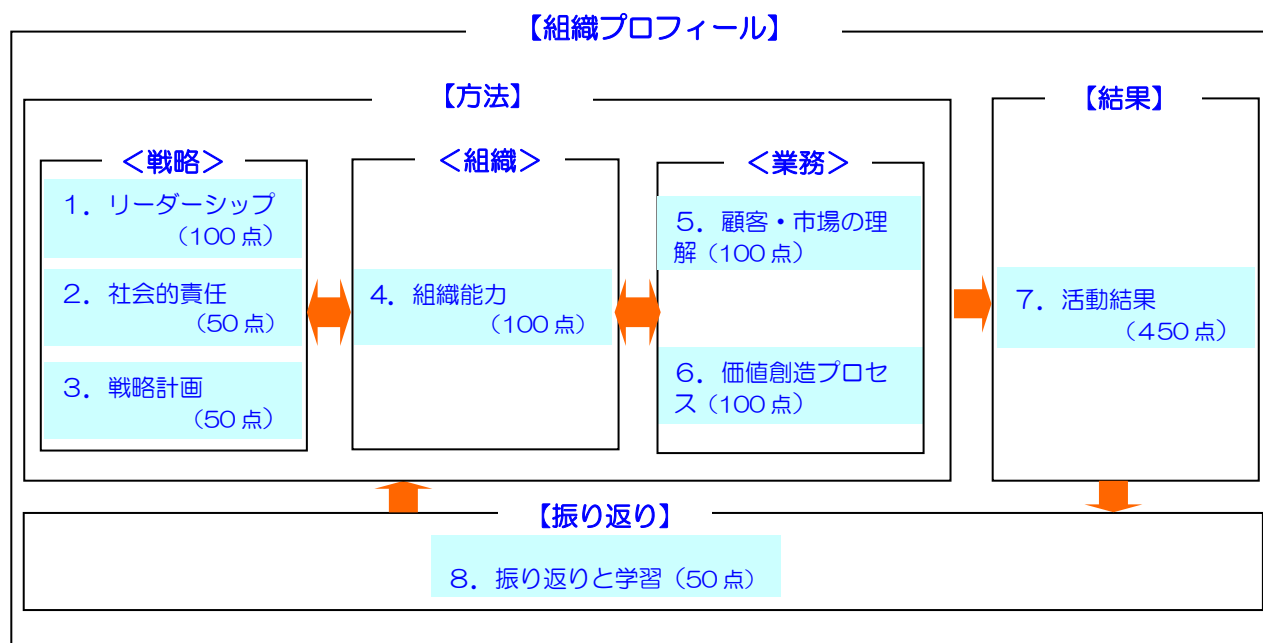
Ⅲ. アセスメント基準

1. アセスメントの考え方

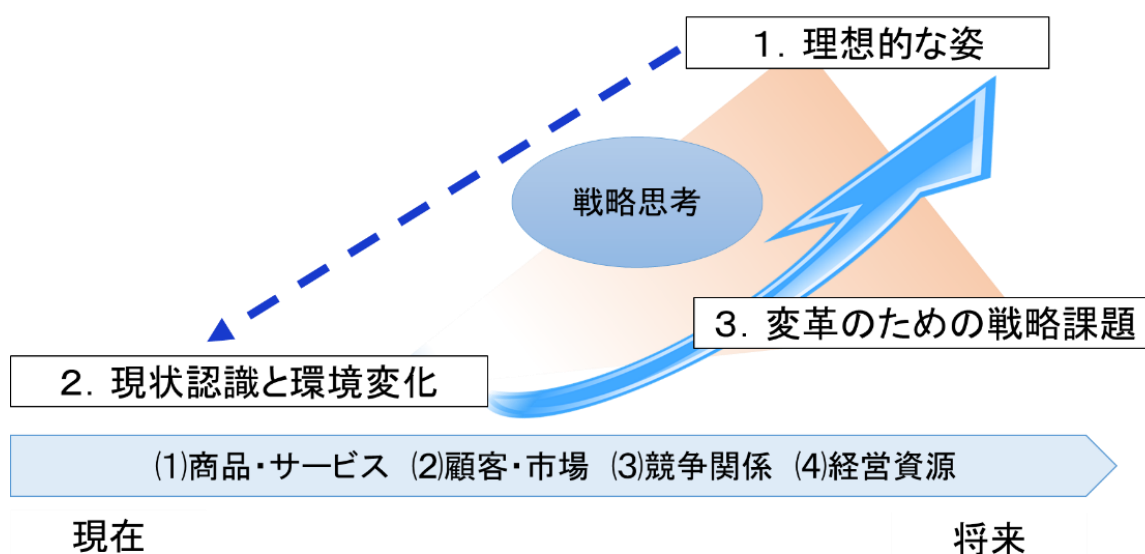
経営品質の向上におけるアセスメントの目的は、理想の姿を実現するために、現状の組織の成熟度を明らかにし、次のレベルへのステップアップに向けた伸ばすべき強みと課題を明確にすることです。

2. アセスメント基準のフレームワーク

経営品質の向上のためには、どの組織にも共通して当てはめられるフレームワーク(枠組み)を用いて経営全体をアセスメントします。フレームワークは、組織プロフィールと8つのカテゴリーで構成されています。



組織プロフィールは、組織の基本情報を整理しておくための枠組みであると同時に、戦略を考えるための思考の枠組みでもあります。アセスメントでは、組織プロフィールに示された理想的な姿の実現と、変革のための戦略課題の達成に向けて実施されている様々な活動や結果の状態を評価します。



4. 成熟度モデル

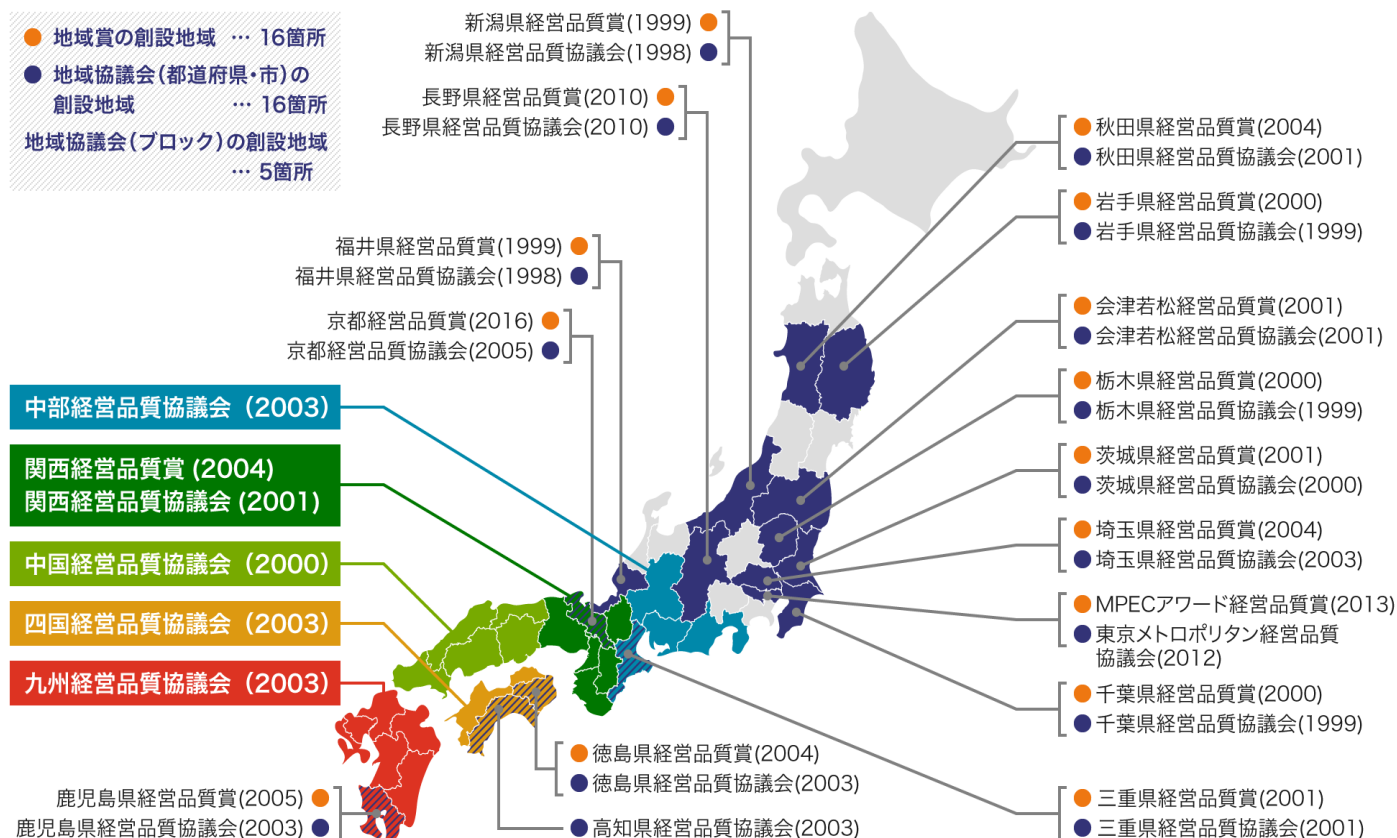
「経営品質向上」において、組織をアセスメントする際の評点ガイドラインは、6段階の経営状態を示しています。この6段階で経営を評価する考え方は、「成熟度モデル」を基本にしています。「成熟度モデル」は組織をどのように改善するのが良いかを認識するために、未成熟な組織と成熟した組織を比較し、それがどう違うのかを明らかにすることで、その違いを見出したものです。これにより組織の成長の過程を段階的に表現したもので、成長の程度を「成熟度」ということで表しています。

評点総括

レベル	評点	内 容
D	(～99)	改善に向けた取り組みが見られない。
C	－ (100～199)	過去の枠組みの中での改善にとどまっている
	＋ (200～299)	
B	－ (300～399)	改善が定着し、求める価値の実現に向けた革新に向かいはじめている。
	＋ (400～499)	
A	－ (500～599)	求める価値の実現に向けて革新している。
	＋ (600～699)	
AA	－ (700～799)	革新による学習により新たな価値を生み出している。
	＋ (800～899)	
AAA	(900～)	革新軌道により最高の価値を生みだしている。

日本各地への広がり

日本経営品質賞の考え方が日本各地に展開されています。地域の経営品質活動を支援する組織は次のとおりです。



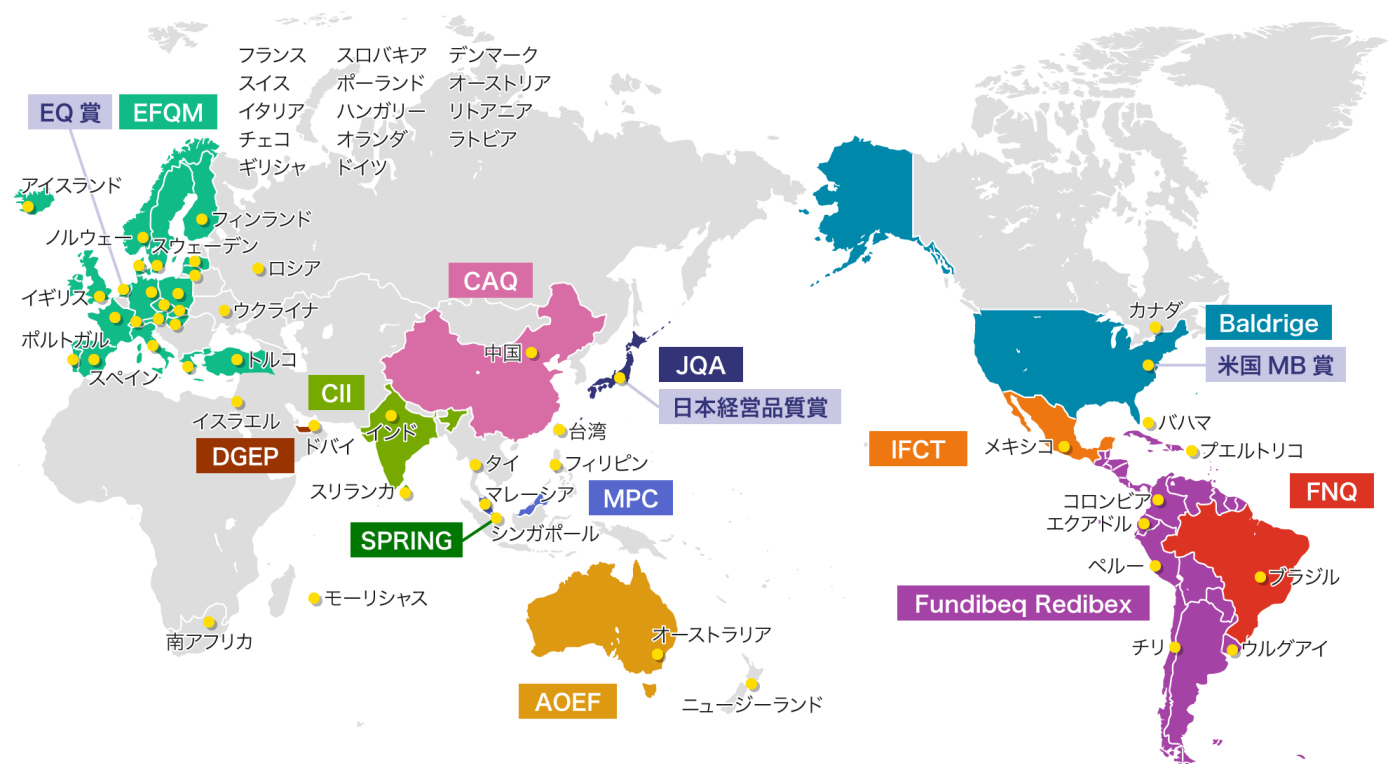
資料Ⅱ. 日本経営品質賞

経営品質の向上は、「卓越した経営を目指し、自らの経営を自らが振り返ることで気づきを高め、目指す価値実現にむけた経営の変革を支援する」ためのプログラムです。

このプログラムは、米国経済競争力復活の原動力となった「マルコムボルドリッジ国家品質賞（MB賞）」の考え方を範として、日本の経営革新の実践を通じてつくりあげられました。財団法人社会経済生産性本部が事務局となって経営品質協議会が設立され、卓越した経営のモデルとしてふさわしい組織を表彰する「日本経営品質賞」を中心に、さまざまな研修コースや支援プログラムが開発・提供されています。同様のプログラムが、アジアや欧米をはじめ80以上の国・地域で実施されています。

1987年に米国MB賞（マルコムボルドリッジ国家品質賞）が創設されて以来、同じ考え方のもとで、全世界にこのプログラムが普及しています。現在では世界で100以上の国や地域で展開されています。こうした状況の中で、主立った地域の表彰制度責任者が年に一度、情報の共有とベストプラクティスの追求等を目的としてGEM/C（Global Excellence Model/Council）が2000年に創設されました。

現在、日本をはじめ、以下のメンバーで構成されています



日本経営品質賞受賞組織

1996 年	NEC半導体事業グループ（現：NECエレクトロニクス株式会社）
1997 年	アサヒビール株式会社／●千葉夷隅ゴルフクラブ
1998 年	株式会社日本総合研究所／●株式会社吉田オリジナル（現：株式会社イビサ）
1999 年	株式会社リコー／富士ゼロックス株式会社第一中央販売本部（現：販売本部中央支社）
2000 年	日本アイ・ビー・エム株式会社ゼネラル・ビジネス事業部／●株式会社武蔵野
2001 年	第一生命相互会社／セイコーエプソン株式会社 情報画像事業本部
2002 年	パイオニア株式会社 モーバイルエンタテインメントカンパニー／カルソニックハリソン株式会社／●トヨタビスタ高知株式会社（現：ネットトヨタ南国株式会社）
2003 年	NECフィールドینگ株式会社
2004 年	千葉ゼロックス株式会社（現：富士ゼロックス千葉株式会社） ●株式会社ホンダクリオ新神奈川（現：Honda Cars 中央神奈川）
2005 年	トヨタ輸送株式会社／松下電器産業株式会社 パナソニック オートモーティブシステムズ社（現：オートモーティブシステムズ社）／松下電器産業株式会社 松下ホームアプライアンス社エアコンデバイス

	事業部（現：パナソニック株式会社 ホームアプライアンス社／●株式会社 J・アート・レストランシステムズ
2006 年	●福井キヤノン事務機株式会社／滝沢村役場（地方自治体部門）
2007 年	福井県民生活協同組合
2008 年	表彰企業なし
2009 年	●株式会社スーパーホテル／●万協製薬株式会社
2010 年	●株式会社武蔵野
2011 年	●医療法人財団献心会 川越胃腸病院／●株式会社ねぎしフードサービス／シスコシステムズ合同会社 エンタープライズ&パブリックセクター事業
2012 年	社会福祉法人恩賜財団 済生会支部 福井県済生会病院
2013 年	滋賀ダイハツ販売株式会社／株式会社ワン・ダイニング／●西精工株式会社
2014 年	社会福祉法人こうほうえん
2015 年	株式会社スーパーホテル
2016 年	日本全薬工業株式会社／●株式会社カワムラモータース／●株式会社ピアズ
2017 年	●トップ保険サービス株式会社／●万協製薬株式会社／医療法人清和会長田病院
2018 年	株式会社スーパー・コート 介護事業本部／●株式会社九州タブチ／●トヨタ部品茨城共販株式会社
2019 年	株式会社 肥後銀行

日本経営品質賞は創設以来 23 年間で 46 組織が受賞されています（●付きは中小規模部門）

日本経営品質賞HPより転載 <http://www.jqaward.org/index.html>

新潟県経営品質協議会会員募集要項

ご入会のお申し込みは、下記の「新潟県経営品質協議会 入会申込書」に必要事項をご記入の上、
FAX：025-233-0903 へお送りください。

経営品質協議会の事業については、ホームページをご覧ください。<http://www.ngac.com/index.html>

1.期 間：6 月～5 月 1 年間（年度途中入会も随時受付けます）

2.年会費：30,000 円／年（消費税含む）

新潟県経営品質協議会 入会申込書 （FAX：025-233-0903）

（ふりがな） 事業所名	
（ふりがな） 役職 / 代表者名	
住所	
電話番号	
FAX 番号	
E-mail	
URL	
業種	



新潟県経営品質協議会

新潟市中央区新光町 7-2 新潟県商工会館 4F

TEL 025-290-7127 / FAX 025-290-7821

E-Mail: nqc@poplar.ocn.ne.jp